

1. 「足袋・足袋蔵」デジタルプロモーション事業

①日本遺産ウェブサイト多言語化

平成29年度に実施した観光プロモーション調査の結果を踏まえ、行田版日本遺産ウェブサイトの英語化、フランス語化を実施し、海外や国内在留の欧米系外国人に広く情報を発信します。(3月上旬完成・公開予定)



写真は平成29年度事業として作成した日本語版
(H30. 3公開)

2. 「足袋・足袋蔵」プロモーション事業

平成29年度に実施した観光プロモーション調査の結果を踏まえ、観光客向けのパンフレット(日本語版)を作成し、観光案内所やぶらっと♪ぎょうだ、日本遺産ガイドダンスセンターなど、各所で配布中です。

また、インフルエンサー11名により、ブログやSNS等で行田の観光情報を発信しました。

3. 郷土博物館の足袋関連展示充実

郷土博物館ラウンジに日本遺産に関する大型展示パネルを設置し、来館者に行田の日本遺産認定やその内容をPRします。本年3月に完成・公開予定です。

4. 観光ガイド育成事業

平成29年度に実施した観光ガイド育成講座の発展形として、今年度は行田市シルバー観光ガイド10名を対象に、他の日本遺産認定地域(栃木県足利市、群馬県甘楽町)を訪問しての現地研修を含めた講座を10月末から11月にかけて全4回実施しました。



他地域での研修の様子

5. 足袋蔵コーディネーター育成事業

主に平日に活動ができる高校生以上の市民を対象とした講座を、9月から2月にかけて9回実施予定で、現在20名が参加しています。



構成資産現地見学



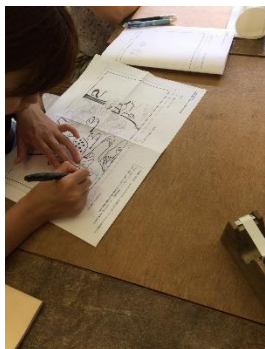
足袋蔵実測実習



壁塗り体験実習

6. 藍染・足袋製造実演技術者養成～観光実演・体験指導

藍染実演技術者養成講座は第1期として昨年度受講者対象に7月と10月に3回実施し、5名(3回目のみ3名)が参加しました。この5名の方は、今後も折々に藍染体験指導を行う予定です。さらに第2期として2月から3月にかけて6回実施予定です。足袋製造実演技術者養成講座は第1期として9月から11月にかけて9回実施し、3名が参加しました。このうち1名を対象に第2期として11月から3月にかけて10回実施を予定しています。この1名の方は、講座終了後も毎週足袋製造実演を行う予定です。また他の2名の方も折々に実演補助を行う予定です。



藍染型作実習



藍染抜染実習



足袋製造実習

7. Japan Expo 出展事業

平成30年7月5日（木）～8日（日）の4日間、フランスのパリで開催されたJapan ExpoにPRブースを出展し、パンフレット配布や足袋販売などを行ったほか、最終日にはステージイベント「行田足袋コレクション」を開催して行田の足袋をPRし、また、入賞者3名を表彰しました。

入賞者3名は、平成30年11月8日（木）～11日（日）の4日間、行田市に招待し、観光アンバサダーとして委嘱して、市内での観光や体験を楽しんでいただき、その様子や情報は、自身のSNSで発信していただいています。



Japan Expo での PR ブース



足袋工場見学の様子



着物で記念撮影

8. 行田みらい塾開催

■塾生（登録者） 41名

■第1回（平成30年7月14日）～第6回（12月15日）

■第7回（平成31年1月27日）、第8回（2月9日）

■成果発表会「行田みらいフォーラム2019」

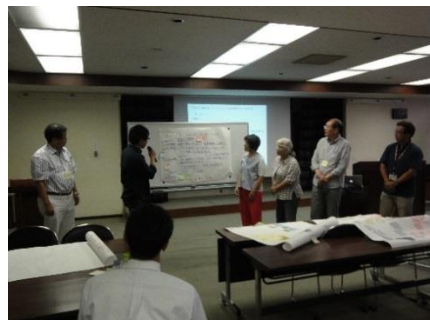
3月10日（日）午後1時～・商工センターホール

日本遺産を活用したまちづくりを担うことができる人材育成を目的とし、観光まちづくりや商品開発、コミュニティデザインなど、様々な分野の講師による講義とワークショップに加えて、他地域視察（燕三条 工場の祭典）を実施しました。

第9回となる最終は、各グループが成果発表（事業提案）を行うとともに、行田の未来について語り合うフォーラムを開催します。



講義の様子



グループ発表の様子

9. 足袋蔵モニターツアー・足袋づくり体験ツアー

インバウンドを見据え、アジア圏国籍の方11名を対象にしたモニターツアーを10月27日に、欧米圏国籍の方15名を対象にしたモニターツアーを11月10日に開催しました。

「忍城」や「埼玉古墳群」、「古代蓮の里」、「ぶらっとぎょうだ」を訪れたほか、体験コンテンツとして、「足袋づくり」や「旅館体験」を行い、圏域による趣向の違いなどをアンケートにより把握・分析しました。

10. 足袋検定の実施

今年度は主に子どもを対象としたワークシート形式の問題を作成し、7月から博物館来訪者を対象に実施しています。全問正解者には「行田足袋博士認定証」を交付しています。



11. 小中学生による足袋に関する絵画コンテスト

市内の全小中学校（小学校3年生～中学校3年生）を対象とし、足袋や足袋蔵などを題材とした絵画コンテストを実施しました。

応募総数は667点で、この中から特選7点、金賞13点、銀賞25点を選定し、表彰しました。また、特選及び金賞作品は、11月10日、11日に商工センターで、11月12日～12月3日まで行田市産業文化会館で展示しました。



忍城時代祭り期間中の商工センター展示

12. 足袋蔵等の近代化遺産の詳細調査

足袋蔵1棟の詳細調査を1月より実施を予定しており、3月に調査結果がまとまる予定です。

13. 足袋蔵等再活用のマーケティング・リサーチ

足袋蔵 1 棟について現況確認調査と活用意向調査を行っており、2 月末に調査結果と構成資産の建造物の活用の方向性や、日本遺産を活用したまちづくりのイメージ図等をまとめた報告書を作成する予定です。

14. ぱっとわかる案内板整備事業

昨年度から引き続き、大型案内・説明板（1 基）、構成資産に設置する説明板（3 基）及び小型案内板（マンホールタイプ 1 基）、中型案内板（4 基）、バスターミナル駐車場への誘導案内板（3 基）を順次設置しています。



大型案内・説明板



誘導案内板（道路案内板）

15. その他（日本遺産サミット）

- 開催日：平成30年9月22日（土）、23日（日）
- 場 所：高岡市生涯学習センター ウイング・ウイング高岡（富山県高岡市）
- 来場者：合計7,300人（主催者発表）

日本遺産の認定を受けた地方自治体が組織する67協議会、文化庁、観光庁などが参加し、展示や物販、ワークショップなどのイベントが開催されました。本協議会は、展示スペースへの展示と、市内足袋事業者さんに協力いただき、足袋製造の実演を見せながら足袋や関連グッズの物販を行い、PRしました。



会場内の様子



職人による足袋仕上げ工程の実演